

【肢体不自由者向け説明会】

市民： 1つ目に、庁内に会議室をどれくらい確保されているのか。結構、会議室を使うのに日程調整が難しい。

2つ目は、車いすで障害者福祉課と話し合いをする前に、打合せしたり、集合したりするような場所として、今は1階の談話室にいるが、この基本設計を見ると、ロビーはそういう感じではあまりなくて、代わりにこの市民協働ラウンジかと思うと少し違うと思うし、天気が良いければ通り庭でもいいが、どこになるのか。

3つ目として、通り庭は結構広いが、地面の素材を教えてください。あまり凸凹も通りにくいし、あまりつるつるしていても危ない。これから決めると思うが、決める際に、皆さんが車いすに乗って誰かに押してもらい、あるいは私たちに声をかけていただくのも良いが、その辺をとりあえず教えてください。

市： 会議の内容は今行っているような会議ということになるか。

市民： 何をするにしても広い会議室でないと我々には難しい。会議室が取れないから会議ができないことが過去にあったので、今以上に会議室があるのかなと思ったので知りたかった。

市： 会議室については、今の会議の状況や規模の調査をさせていただき、新庁舎で必要な会議室の数と広さを設けている。関係課とヒアリングし、年月をかけて調査した。過不足の無い形で対応できると考えている。

市民： 今より、減るってことはないのか。

市： 数的には減る部分もあるが、庁内で打合せをすることについては、執務室の中で簡単な打合せが出来るようなスペースを設けているため、できるだけ市民の方が来られるような会議に負担をかけないような形を考えている。

2つ目の会議などの前に集まる集合場所については、多目的スペースをそういう場として考えている。天候の良い時には通り庭を使用させていただくことも考えられる。

また、ピロティ状で屋根がかかっているので、休憩がとれる場所として想定できる。一時的にはおもや1階南東側のロビーも使える。

市民： 図面を見てもイメージがわからないが、10m×8mぐらいだと思う。今のところより広いのか。

市： 多目的スペースは200㎡位を考えており、今日のこの会場の会議室が100㎡で2つ分となるため、十分な広さを考えているのだが、様々

な臨時的な手続きもあり、常時空いていることではないのでご了承ください。

市民： それは今もそうである。

市： 3番目の通り庭の床の素材については、これから検討するところだが、滑りにくい材質などは考えていく。

市民： 逆に懲りすぎてガタガタするものもある。

市： 今考えているのは、出来るだけ自然素材で風合いのあるものを念頭に置いて検討している。

市民： トイレの詳細に関して、資料の6ページのトイレは障害のレベルに応じて付けるのか。

市： これは重度障害者用のトイレとしている。

市民： 6ページの3か所すべてが障害者トイレなのか。

市： 全部が障害者用トイレと言うわけではなく、1か所が障害者用、1か所が親子トイレ、もう1か所が一般の男女のトイレとして計画している。

市民： この図で、大型ベッドを配置するとあるが、車いすで入って、リフターがついているのはすごい有り難いと思ったが、リフターで釣り上げて、ベッドに上げられるスペースがあるのか。

市： 我々も色々施設を見たが、その使い方について今回ご意見を頂ければと思い、今回機会を設けたところである。

後ほど詳しくお聞きしたいと申し上げたのは、会場の後ろの方におおよその寸法でガムテープを貼っているのので、それを体験してご意見を頂ければと思う。使い勝手などについて、ご本人や介助者の方それぞれからご意見いただきたいと思う。

また、リフターがあるのでつけられるかどうか分からないが、使用中については、カーテンが必要なかどうかというご要望などもお聞きしたい。

更に、右勝手左勝手についてや、その他のご意見もお時間あれが頂きたいと考えている。

市民： 大型ベッドの寸法はいくつか

市： 今考えているのは、横幅60cm、縦の幅が1m50cmのカタログなどで大型ベッドと表記されているものである。普通の誰でもトイレにある物よりも大きい物である。

市民： 枠とか手摺とかはどうか。

市： それはものによって色々あると思うが、そのあたりについては今後、検討を実施設計の中でしていくことになる。

市民： 現実的に使えるかどうか、150cmだと体が出てしまう状況で、横も60cmだと、重い障害の方が横向きになっていられるかと言うと、恐らくいられないと思う。

市民： 狭いと思う。

市： 例えば、一般的な重度障害者用のトイレと言うのは余りないとお聞きしたが、ベッドのサイズはどれくらいあるといいものなのか。

市民： 障害者用ベッドとして売られているサイズがあり、長さは2m位ほしい。幅も90cm位あれば横向きになれる。

跳ね上げ式でも問題ないと思う。入った後、リフターで吊られて跳ね上げ式で、その位置を見られれば良い。そうしないと実際使い物にならない。

ストレッチャーなどを利用して、街中を動いている人や手足が動かない人、それ以外のいろんな障害者の方がいると思うが、重い障害者になると一般の便座は使用不可である。

市： 一般的なカタログに載っているものは先ほどお話したサイズのもので、幅が90cm、長さが2mというと普通のベッドと同じくらいだと思うが、どのくらいの高さが必要になってくるのか。

市民： 介助する内容によっても変わるが、基本的に介助者の腰に合わせた方が良い。

市： だいたい机の高さなどか。

市民： 介助者が女性の場合はあまり高すぎてもだめであり、理想を言えば2段階か、本当は3か4段階くらいに変えられれば良い。

市： 本格的なベッドを常時置くことができれば良いことだとは思いますが、この限られた2m78cmと2m60cmの枠の中で、これも最大限できるだけ取る形で考えていたが、この中で可能な大きなベッドを置くことを考えていければと思う。

通常のサイズのベッドでも折りたたむものも考えられるか。

市民： それは問題ない。使う時に大きければ良い。向きも決めてなくて良い。

市： 介助の方が拵げられれば大丈夫ということか。今のカタログに載っているような跳ね上げ式のものでも良いのか

市民： 別にそれにこだわらなくても良い。

市： 動かすことができるものであれば、向きも変えやすいということか。

市民： そうである。その時によって、同じ向きができない方もたぶんいると思う。その日の体調によって、頭の向きが変わることがある。

- 市民： 例えば、朝左を向いてて夜は左を向けないことがあるので、向ける方向にしたい
- 市： そうするとベッドが動くことで、そのような方に対応しやすいということになるということか。
- 市民： そうである。
- 市民： リフターのレールはトイレの便器の所には届いてないが、このレールは横に動くのか。
- 設計： 縦と横、前後に動くものを想定しており、奥行方向に動き、縦にも動く。
- 市民： オストメイトが一番上にあるが、右下に動かせば、ベッドが置いて、スペースが生まれる。
- 市： ベッドも専用のものでなくても、この中に置いておけば、邪魔にならないと思う。
- 市民： はい。非常に中が広がるので、一般の障害者が便器に座らせる人に対しても介助者も非常にやりやすいと思う。
- 市： ベッドは縦方向の両方にスペースがあった方が、基本周りは空いている方が良いのか。
- 市民： 介助者が入れるスペースがあった方が良い。
- 市： 本日会場の後方にイメージが湧くようにガムテープを貼っているので、後ほど見ていただきたい。それ以外に何かあればお聞きしたい。
- 市民： 9ページの地下1階の障害者用駐車場を要望どおり設置いただいたのは感謝しているが、おもやは北の方にあるということか。立体的にイメージが出来ていない。
- 障害者専用駐車場が、地上1階の障害者福祉課や介護保険課と離れていると思う。エレベーターも西側が一番近いと思ったので、地下駐車場の西側に1、2台分あると良いと思った。
- 地下1階の駐車場にもトイレは設けられないのか。その理由は介護の経験上、車に乗っている間はトイレに入れないので、車を降りた時が大体トイレに行きたいときである。エレベーターを待っている時間やそもそもエレベーターが少し駐車場から離れている。スムーズに車を降りた時にすぐにトイレに行けるようだと、すごく良い。
- 市： 1階の西側のピロティ状になっているところは、乗り降りができるのでスロープを介して、入ることができる場所となっている。
- 市民： そういう場所はあるということか。駐車はできないが乗り降りができるということは、来たらすぐに駐車場に入らないで、そこに寄

せて、下ろして、トイレに行きたかったらすぐに行けるということか。

市： 一番近い駐車場になると思う。

市民： その間、車を止めていても良いのか。

市： そこは今後の運用になると思う。時間がかかると思うので、運用も踏まえて考えていきたい。

市民： 今日は福祉タクシーで来ているが、介助者が車を運転してくることもある。止められないと意味がない。

市： どちらの利用が多いのか。

市民： 色々あり、皆さんの状況や生活スタイルもある。是非統計を取っていただければと思う。

市： 多ければ良いというものではないかと思う

市民： 止められればベストだと思う。その必要がある人は数人かと思う。

市民： 生活保護の部署と障害者福祉課が離れていると思った。少し離れているのは良いが、あちこち行くことになるで大変である。

市： 生活援護課の場所と障害者福祉課の関係について、障害者福祉課は建物の位置は変わりますが、今と同じように、西側玄関から入ってすぐのところにある。生活援護課は2階に配置しようと考えており、1つ上の階に上がる必要は出てくるが、今の庁舎と比べると階の移動は少なくなっている。同じ階にはなかなかいかない事情があり、一つ上の階と横移動をしていただきたいと考えている。

今の市役所にはないエスカレーターを設置することと、エレベーターの数も多くしていることから、現在よりもエレベーターは早く到着すると考えている。

横の移動はどうしても出てしまうが、近接した階に配置している。

市民： 気になっていることだが、介助者が押さえるのではなく、駅によくある平らになるエスカレーターでないと押さえられない。

市： そういう対応をしていないと危ないと思う。

市民： エスカレーターは使わない

市： できれば棲み分けをしていただいて、エレベーターをご利用いただきたい。エレベーターの利用が必要な方がスムーズに利用できるよう、エスカレーターを設置している。

市民： 各課のカウンターの高さはどれくらいか。電動車いすだと膝が当たってしまう。今のカウンターよりも高いと助かる。

市： 内観パースで見てください、高いカウンターや低いカウンターや車いす用のカウンターや少し周りの人に声が聞こえにくいカウンタ

一等色々想定している。

具体的な寸法は、カウンターの天端の高さが73cmで、厚みを考えると、70cm位の空間で、ぎりぎりになると考えられる。

本日ご意見をいただいたので、再検討していきたい。

市民： カウンターの前に椅子が置いてあるが、この椅子をカウンターの中に折りたたみできれば、車いすで来たときに邪魔にならない。

市： 通路の幅とも関係しているのか。通路の幅をできるだけ広く取ってほしいという声も聞き、通路幅は約6mと広めにとるようにし、スムーズな通行ができるよう検討している

市民： 通行だけでなく、市の職員が必ず椅子をどけているが、カウンターの中に椅子を折りたたむことができれば楽なのではないか。

市： 色々な製品を調べたい

市民： 市役所の外の周りの舗装、歩道とかの段差を無くすと言っていたが、具体的にどうやるのか。

市： 関係課と協議を進めているところで、基本的には段差を無くす方向で考えている。大きく地盤が真っ平らではないので、皆さんが入る場所は段差がない形で計画している。

市民： 分かった。

市： その他何かなければ、おもや1階西側の重度障害者用トイレのサイズ感を会場後方にガムテープで示したので、ご意見を頂きたい。どのような動きをされるのかというイメージをつかんでほしい。

市民： 出入口を真ん中にして欲しい。幅を広げることはできるか。

市： 今は90cmである。ベッドを置くゾーンとして確保したほうが使いやすいということか。入ってから広げるということか。

設計： 介助者の方に聞きたいが、壁とベッドのスペースはどれくらい必要か。

市民： 自分は痩せているので人によるが、腰を下げるので、これくらいの距離は欲しい。上からも下からも介助する。

市： 今ライニングが30cmほどある。ベッドが大きい方が良いというご意見を頂いたが、大きくして中で移動ができないということも考えないといけない。

折り畳みのベッドがどんなものが売っているのか、どう取り回すのか、もう少し検討が必要だと感じている。

市民： ドアは真ん中にした方が良い。ベッドを使わない人でも中で電動車いすが回転すればできたりする。

市民： 全体的に小さい感じがする。

市： 実際に中に入ってどう動くのか体験して頂けたらと思う。

市民： これは一番良い車いすだから小回りで回れる。普通のではぎりぎりではないか。

市： 少なくとも今の庁舎の多目的トイレではものすごく狭いということが分かった。その中でもできる限り大きい場所が取れば良いと思うが、大枠はできればこの形で考えさせていただき、先ほどの入口の位置、設計変更を検討し、ベッドのサイズもこれから考えるが、改めて検討したいと思う。

市民： それとオストメイトの位置である。

市： はい、設計とも協議しながら介助のスペースを考えて変更したい。

設計： オストメイトを使われるシーンはあるか。

市民： あると思う。なければ便器で対応できるものもある。

市： オストメイトについては、低層階の他の一部のトイレに設置したいと考えており、オストメイトを利用される方はそちらをメインに使用していただき、重度の障害をお持ちの方はこちらに来ていただくということを考えている。

市民： それは良いと思います。

市： 重度障害の方がオストメイトを使うということはあるか。

市民： オストメイトを使う方はベッドに上がる必要が無い。ここにはなくても良い。

市： オストメイトが無くても利用としては問題が無いということか。

市民： むしろベッドを畳めるのであれば介助の人がすごい楽になる。

市： 重度障害の方で、ハンドドライヤーの利用はどうか。

市民： 手を洗えないので、介助者の利用だと思うが取り回しスペースの方が優先される。

市民： オストメイト利用の人もいるから完全になくすのはどうかと思う。

市民： オストメイトの方が利用できるトイレは庁舎内に別にあるのだと思う。

市： ある。そのため、こちらを重度障害者の方専用にした方がお互いスムーズに利用できるのではないかと考える。ある意味特化していった方が、誰でもというよりはスムーズではないか。

市民： 軽度の障害者の方用のトイレは別にあるということか。

市： はい、誰でもトイレと言う形で各階に配置したいと思う。

市民： 今の市役所にあるような感じのものか。

市： はい。他に親子トイレと言うものも考えている。

市民： 全体の壁は動かせないと、2m78cmと2m60cmの枠の中

でということだが、そもそも何で今回こういう話をしているかと言うと、設計が固まると全体が動かさない、限られた中で要望を出すしかなくなってしまうからである。なるべく先に言っているのに、今日の段階でここは動かさせませんと言うのは、今日話し合った意味が半分くらいない。

市： 以前にお話をいただいたので、通常のトイレよりは大きい形で計画し、大型ベッド等を配置するように検討したということである。

このまま作ってしまうということはできないと思ったので、今日ここでお話をしているところである。

市民： 今日には広さも含めて、もっと広くしてほしい。いったん案を見たら狭いなと思う。せつかくこういう機会なので、日本で一番良い障害者トイレをつくるくらいの気概でやってほしい。

図を見ると親子トイレの方が大きい。そもそももう少し大きくしてほしい。幅はどれくらい違うのか。親子トイレと言うのはどういうものか分からないが、こんなに必要なのか。

市： こちらもご要望があり、検討したところである。ベビーカーでそのまま入り、親と子で使用するようになる。

市民： 重度障害者の方がスペースが必要なのではないか。

市： 市としては、本日のようにご意見をお聞きしないとわからないところもある。先ほどのベッドの話や介助者の方の動きなどもお聞きしないと分からなかったところで、これからどこまで対応できるかというところである。

市民： もう動かさないのか。

市： ここの場所は今のところできないが、先ほどの別の場所、親子トイレの場所は検討の余地がある。

設計： 壁の位置は今ご意見を頂いたので、周りの場所もあるためそこが調整できるかを検討していた。

我々の認識として、大型ベッドは通常のトイレメーカーが販売している折り畳みのベッドで基本的に足りると考え、それをベースとして車いすの半径や設備において十分な広さだと判断し、この寸法とした。

今日もっと広さが必要だというご意見を頂いたので、2つのトイレが並んでいるため機能の調整はできると思うので、今日のご意見を踏まえて調整したいと思う。

市民： 調整可能なのか。さきほど調整可能じゃないと言ったから聞いている。

設計： 可能である。

市民： 私の車いすだと実はなかなか難しい。手動でも難しい。

市民： 操作の上手い人は回れて車いすを寄せられるが、実は結構余裕がなく難しい。色々調べてみてこの大きさはすごいなと思った。でももう少し大きいと良い。

市民： このくらいの広さだったら他にあるのではないか。これから設計するんだから、かつてない位広い、日本一のトイレをつくる気持ちでやってほしい。

市： そのため、設計の段階でこういう場を設けている。

市民： 大きさが決まっているとされたらこちらも来ている意味がなくなってしまう。変更の可能性と言うのを提示してもらわないと。

市民： 今回転するので分かるが、誰でもとは言えなくなってしまう。

市： この場所については誰でもということではなく、重度障害の方のトイレとして考えている。

市民： 3 mとか4 mなどが良い。

市民： 大きければ大きい方が良い

市民： 3.5 mとかが良い。

市： リフターにも種類があると思うが、上げ下げする機械の安全上の話もあるので、詳しくお聞きしたい

市民： 大型ベッドの大阪の事例が有るのでお渡しする。東京駅にはないものである。

市： 少し工夫をして、ご意見を踏まえながら進めたい。カーテンの使用についてはいかがか。

市民： 介助者に対して恥ずかしいという気持ちはないので、ない方が良い。

市民： 女性だとどうか。

市民： 恥ずかしいという感情はない。

市民： カーテンはあった方がよいと思う。

市： どう設置すると良いか。

市民： 便器のまわりが良いと思うが、自分でできるかたがどう考えるか。腰かけて隠れる高さだと思う。

市： 少し検討させてほしい。

市民： 重度障害者専用のトイレは1か所だけか。

市： 1か所である。

市民： できたら2つくらい欲しいという感じがする。トイレに行くと結構時間がかかるので、団体交渉しにみんな来て休憩時間でみんな

で使うと、できたら2つくらい考えてほしい

寝たまま排便する人のための床が一段高くなっていて、そこに寝そべったまま排便するとかの人用のものを設置してほしい。

そういう設備も入っているとイメージして今日来た。

市： 特注なのかもしれないが、寝たままできるベッドというのがあるのか。

市民： ある。ストレッチャータイプの方など、足が曲げられない人もいるので、2か所あると良い。

市民： 座れる人もいると思うが、そういう人は便器を使わないと思う。

市民： そういうところまで踏み込んで考えて欲しい。

市民： 人によって違うと思う。

市民： クッション性のある床が良い。固いと倒れた時にけがをする。

市： 床材の事か。今はタイルやシートなど考えられるが、転倒することが多いのか。設計を進める中で素材の選定をしていくが、勉強していきたいと思っているので、良い施設の事例などがあれば教えてほしい。

市民： 重度障害でも種類が違う。

市： 本日頂いた意見をどう実現していくか検討し、できるだけ対応をしていきたい。

市民： トイレに行くまでの廊下の幅はどれくらいか。

市： 1.8mである。ゾーニング的に西側は市民の方は多く通らない想定をしている。

市民： 曲がれるかどうか微妙である。できるだけ切り返しが無い形が良い。

市： ぶつからない様に気をつけながら回らないといけなくなる。

市民： 府中公園の西側にあるトイレはこれより全然中は狭いが、入口自体は入りやすくなっている。

市民： ベッドを跳ね上げた状態にして床に下ろして対応することもある。

市： ストレッチャー対応の便座のついたベッドがある施設を見学した。

市民： 重度障害者が座れるトイレとは違うタイプだったと思う。

市民： そうするとここは本当に重い人専用で、両脇に畳のようなものをひいた穴の開いた便器を置くこととし、普通の便器はいらないのではないか。

市： 普通の便器はいらないのか。

市民： 普通の便器はなくて、スペースを大きく広くすれば良い。普通の手が動く障害者は他のトイレを使用すれば良い。

市： 全体的なトイレ計画について再検討していきたい。本日は大変参考になった。またこういった機会を設けさせて頂いて、ご相談させて頂きたいと思う。

市民： この設計はいつまでに決めればいいのか。

設計： 4月末までである。